



議会だより つしま

No.25

2024

8月

令和6年



私たちはこの笑顔を守ります

「交通安全教室」

もぐり

- ★第2回臨時会
第2回定例会あらまし……2
- ★第2回定例会一般質問 5～9
- ★常任委員会審査報告……3
- ★所管事務調査報告 10～11
- ★会派代表質問……………4
- ★全国市議会議長会永年表彰12
- ★編集後記……………12

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会
〒817-1201

長崎県対馬市豊玉町仁位380番地
TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018
E-mail t_gikai@city-tsushima.jp



令和6年第2回対馬市議会臨時会の概要

令和6年第2回臨時会が4月25日に開かれ、2件の提出議案について審議され、可決されました。

- 対馬市コミュニティーセンター条例の一部を改正する条例
- 対馬市コミュニティーセンターの指定管理者の指定について

【議案】



令和6年第2回対馬市議会定例会の概要

令和6年第2回定例会が6月18日から7月2日(15日間)の日程で開かれ、15件の提出議案について審議されました。

対政会の会派代表質問のほか、一般質問は10人が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な議案

報告(予算) 3件

(令和5年度対馬市一般会計継続費繰越計算書について ほか)

予算案 3件

(令和6年度対馬市一般会計補正予算(第2号) ほか)

条例改正案 9件

(対馬市教職員住宅管理及び使用料条例の一部を改正する条例 ほか)

議決案 4件

(対馬市コミュニティーセンターの指定管理者の指定について ほか)

その他 2件

(対馬市固定資産評価員の選任について ほか)

入江議員に対する懲罰動議(継続審査)

陳謝とすることを可決

対馬市議会議員定数条例の一部を改正する条例について

可決

※ 議案、審議結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議案



審議結果



9月定例会のお知らせ

令和6年第3回定例会は、9月中旬に開催を予定しています。
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



常任委員会審査報告

総務文教常任委員会

委員長 陶山 莊太郎

【議案第36号】令和6年度対馬市一般会計
補正予算（第2号）

●主な歳入の内訳

- ・ 地方交付税（普通交付税）の追加
- ・ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加
- ・ 地域脱炭素に向けた重点対策加速化事業費補助金の計上

●主な歳出の内訳

- ・ 豆殿住民センター解体工事に係る委託料及び工事請負費の計上
- ・ フェリー・ジェットフォイルの運賃補助金の計上
- ・ 省エネ家電購入費補助金の計上
- ・ 太陽光発電設備・蓄電池設置補助金の計上

◆委員からの意見

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は、市民全体を支援できる事業に活用してもらいたい。

◆審査結果

原案のとおり可決

厚生常任委員会

委員長 島居 真吾

【議案第36号】令和6年度対馬市一般会計
補正予算（第2号）

●主な歳入の内訳

- ・ 地域生活支援事業補助金（障害者自動車運転免許取得費及び身体障害者用自動車改造費に対する補助金）の計上
- ・ 地域生活支援事業補助金の計上
- ・ 長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金の計上

●主な歳出の内訳

- ・ 日額及び月額会計年度任用職員における人件費の追加
- ・ 障害者自動車運転免許取得費補助金、身体障害者用自動車改造費補助金の計上
- ・ 小児慢性特定疾病児童等、島外通院交通費助成金の計上
- ・ 長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金の計上
- ・ 新生児オプショナルスクリーニング検査に係る委託料及び助成金の計上

◆審査結果

原案のとおり可決

産業建設常任委員会

委員長 坂本 充弘

【議案第36号】令和6年度対馬市一般会計
補正予算（第2号）

●主な歳入の内訳

- ・ あそうベイパーク整備事業（ハード）及びデジタル素材を活用した島内外の観光物産の魅力発信事業の追加
- ・ ノラネコ不妊化のための資材購入に係るJAC環境動物保護財団補助金の計上
- ・ あそうベイパーク整備事業債の計上
- ・ 漁港整備事業債及び道路改良事業債で、国の補助金の内示に伴う減額

●主な歳出の内訳

- ・ 対馬地区ネコ適正飼養推進事業に係る人件費等の計上
- ・ デジタルマップ作成委託料の計上
- ・ あそうベイパーク管理棟建築工事、多目的広場活用整備工事及び三宇田浜海水浴場休憩スペース整備工事費の計上
- ・ 橋りょう補修工事委託料の追加
- ・ 仁位港湾都市再開発用地購入費の計上

◆審査結果

原案のとおり可決

市政を問う

1会派が会派代表質問
10名の議員が一般質問



- | | | |
|----------|----------|----------|
| 対政会…P 4 | 入江有紀…P 5 | 糸瀬雅之…P 5 |
| 伊原徹…P 6 | 小島徳重…P 6 | 黒田昭雄…P 7 |
| 島居真吾…P 7 | 小宮教義…P 8 | 作元義文…P 8 |
| 脇本啓喜…P 9 | 波田政和…P 9 | |

対政会



大浦 孝司議員

◆比田勝港の貿易港開設への取組について

(大浦) 対政会の政務調査報告を兼ねて市長へお尋ねする。令和4年10月、産業建設常任委員会所管事務調査で、上対馬町泉に所在するジャパンシーフーズ社へ聞き取りを行った。同社は設立から10年が経過し、年商8億円、従業員が40人弱の企業である。以前、島内のまき網業者2者より仕入れを希望していたが、最終的にはまとまらず断念した。そこで同社は韓国からの輸入について、株式会社福岡魚市場の仲介のもとに韓国のまき網業者との協議が成立し、泉工場での生産拡大を計画している。この計画にはアジ、サバの最終的輸入量が数千トンと書かれており、150人体制で40億

円の売り上げが計画されている。現在、対馬の貿易港は厳原港であるが、流通コストを削減することを考慮した場合、必然的に比田勝港が貿易港としてふさわしい。開港手続きを進めることについての市長の考えは。

(市長) 令和5年一般質問の折、流通の改善が大いに期待できることから、開港に向け取り組みたいと回答した。当面は厳原港の入港手続きを経て、比田勝港で貿易貨物の取扱い実績を積み上げていくことが重要であると思う。比田勝港の貿易実績が開港に向けて間違いのないものとなれば、港湾管理者、CIQ(税関、入国管理、検疫)、門司税関、財務省と協議し、開港に向け取組を推進する。





入江 有紀議員

◆子供の医療費無償化

(入江) 中学3年生までの自己負担800円を無償化してもらいたい。

(市長) 今後検討する。

◆学校給食における未利用魚の使用

(入江) 給食で子どもたちの嫌がる未利用魚を使い続けているが、いつまで使うのか。

(教育長) 今後も調理方法を工夫しながら使用したい。

◆職員住宅管理規程

(入江) 市長が管理規程違反をして職員住宅に住んでいた件について。

(市長) 住宅の明け渡し要請があり、新たな住宅を探したがなかなか入るところがなかったこともあり、一年以上上空室となっていた職員住宅に入居した。その際

に職員住宅管理規程の内容を十分読み込むことができなかつた。認識不足があつた。

◆中部中継所全般

(入江) 職員が1年6ヵ月間、動物死体一時保管用冷凍庫を無断使用していた件について、始末書だけで終わらせるのではなく、電気代弁償などをさせるべきである。また、ハローワークで募集している内容と異なつた仕事をさせている。レシプロソーの使用は一切求人票で記載されていなかった。退職後に後遺症で通院している者もいる。

(市長) この冷凍庫は、通常から電源を入れており、不当な使用の有無にかかわらず電気代が発生することから、弁償までは求めていない。求人票には、代表的な仕事内容に「等」をつけており、この中にその他関連する業務が含まれているので、募集内容と異なる仕事を業務として明示しているというのではない。



糸瀬 雅之議員

◆対馬市の子育て支援は

(糸瀬) 子育て世代の保護者の経済的負担軽減、安心して子育てできる環境、少子化対策での学校給食費の無償化の考えは。

(市長) 大きな財政的負担が伴うので、給食費の無償化は国の政策として実施すべきものと考えている。

長崎県市長会として国に学校給食の無償化については要望している。

(糸瀬) 学校給食費無償化の財源としてふるさと納税を活用して充当すべきではないか。

◆対馬市制20周年限定の出産祝い金創設の考えは

(市長) 市制20周年限定の出産祝い金の創設については、現時点では考えてい

ない。現在、人口減少対策として、市制20周年を契機に新たな子育て支援策について検討しており、乳児等の小さい子どもを持つ親の負担軽減対策として、紙オムツや粉ミルクの助成ができるように組み立てをしている。

◆対馬市の転県は

(糸瀬) 現在の長崎県対馬市から福岡県対馬市、もしくは国直轄の特別区に向けて動く考えはないか。

(市長) 転県については、市民をはじめ市議会、県、県議会及び国に影響を及ぼす極めて重要なものであり、その影響は計り知れない。現在は考えていない。

(糸瀬) 対馬市民全世帯にアンケート調査を実施して、市民の意見を聞くべきではないか。



伊原 徹議員

◆**巖原南部地域の観光地整備は**

(伊原) 上見坂公園から清水山城跡までの観光周遊ルートの創設及び整備は。

(市長) 旧県道から上見坂公園の範囲において、風光の確保を図るよう伐採が必要な個所の精査等をしていきたい。また、有明山の活用に向けて管理運営協議会が組織され、長崎森林管理署と協定を締結し、コース設定及び案内板設置等の事業が進められたが、有効な活用施策となるソフト事業の展開ができず、令和4年に管理運営協議会が解散した。再度森林管理署と協議を進めたい。

(伊原) 豆殿崎公園から椎根石屋根倉庫群までの周遊ルートは。

(市長) 南西部ルートは観光名所をストーリー性のあつた一つのコンテンツとして作り上げるため、観光関連事業者等の意見を頂きながら進めたい。また、南部地域の未改良箇所未着手区間は、県との調整を進めたい。

◆**本市の介護保険料は**

(伊原) 介護保険創設からの保険料の現状と将来推計は。

(市長) 人口に対する高齢化比率は年々上昇し、介護保険料は制度開始時の月額基準額3千420円から、第9期現在は6千500円となっており、将来は全国平均の9千円台に達する見込みである。

本年度から高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の基本理念として「みんなのでつくろう!いつまでも安心して健やかに暮らせる島 対馬」を掲げており、健康寿命の延伸を図るため、地域包括ケアシステムのさらなる強化と地域共生社会の実現を目指す。



小島 徳重議員

◆**ふるさと納税の寄附増額は**

(小島) 目標額を設定し、官民一体の強力な取組が必要では。

(市長) 令和5年度末の寄附額は3億803万円で過去最高であった。5年度から7年度までの3か年計画の中で、目標額を5億円と設定し、事業に取り組んでいる。

(小島) もう少し高い目標設定、長期的な施策設定が必要ではないか。

◆**企業版ふるさと納税の拡大は**

(小島) 一定の成果は評価できる。更なる拡大が必要。

(市長) 令和3年度から開始。寄附額の変動はあるが、件数は若干、増加傾向。SNS等での発信、トップセールスを始め、福岡、関西、

東京の各対馬会など関連団体への周知・PR等を実施した。

(小島) 企業版も多くの自治体を取り組み、全国的には3年間で10倍くらい伸びている。対馬市も積極的な取組が必要。

◆**修学前の教育・保育の充実**

(小島) 幼稚園入園者の急激な減少を踏まえ、幼児教育・保育の組織編成のあり方、考え方は。

(教育長) 幼稚園の統廃合や民間への移管、こども園への移行など、様々な案について重点的に関係者と検討する。

(小島) 1月の総合教育会議以降の協議は。

(教育長) 綿密な調整等は行っていない。

(市長) 早い時期に検討を重ねる。

※この他に「海に関する学習」の充実について質疑を行った。



黒田 昭雄議員

◆交通安全対策

(黒田) 市営住宅雑知団地の建設に伴い交通量の増加が予想され、事故が心配される地元住民が少なくない対策は。

(市長) 南警察署に協議をしているところであり、今後の動向を見極めながら、協議を進めていく。

◆公共施設等個別施設計画

(黒田) 進捗が非常に遅い。旧6町の合併で多くの公共施設等を抱えて、修繕等の市民要望にも応えきれないのだから、残さなければいけない施設を早めに見定め、集中して見ていくべき。なぜ積極的に進めようとしていないのか理解に苦しむ。現状認識を伺う。

(市長) 計画で掲げた目標値からすれば、進捗が思わしくないと感じられると思

う。道路などをはじめとする生活インフラの整備促進のための財源の確保、進行するインフラの老朽化対策費用の捻出が課題であり、今後、利活用が可能な財産の洗い出しを進め、公共施設の利活用を推進し、さらに、有効利用の見込みがある土地に存在する建物の解体については優先的に取り組む。

◆災害対策

(黒田) 災害対策の初動は市民一人一人。個人用タイムラインの作成など「自助が一番大切だ」との意識醸成を図っていくべき。市長の所感は。

(市長) 将来的には、個人ごとのタイムラインの作成について検討していきたい。また、共助の一つとして、自主防災組織の活動があり、そこにお住まいの住民同士が協力し、定期的に活動すること、個人の防災に対する意識の醸成へとつながるものとして、引き続き取り組みでいく。



島居 真吾議員

◆椎茸原木等の伐採後の植林は

(島居) 杉、ヒノキ、椎茸原木等の伐採後の植樹について、市の対策は。また、令和6年6月の森林環境譲与税賦課徴収開始による市の新たな政策は。

(市長) 国及び県の造林補助事業補助金を活用し、ネット柵の防鹿施設を設置した場合に、市では、ネット柵の延長1メートル当たり100円の補助金を加算している。さらに、造林補助事業補助金の対象とならない場合でも、市の森林環境譲与税活用事業補助金により、人工林の植林や天然更新などを行う場合に、防鹿ネットなどの防鹿施設を設置することも可能である。また、森林整備のため荒廃した森林作業道の補修や

未利用材の搬出、運搬、設置した防鹿施設の見回り・点検作業、高齢級の人工林の主伐・再造林における植林など支援している。

(島居) 伐採後の問題点は植樹、ネット張り、草刈等に個人負担がかかるのでこの点を解決してほしい。

◆殿崎ヘリポートの夜間発着体制は

(市長) ヘリ搬送については、県を通じ、海上自衛隊が対応できない場合は、航空自衛隊、陸上自衛隊のヘリを活用してこれまでどおり離島の救急搬送を行うと文書をいただいた。夜間については今後、壱岐、五島、上五島、小値賀等の離島とも協議しながら、夜間離発着が可能となるよう要望していく。

(島居) ほかの離島との連携も大事だが、対馬は縦に長く時間がかかり、他の離島とは条件が異なる。対馬市が主体となり態勢を整えてもらいたい。



小宮 教義議員

◆**韓国人に盗まれた仏像は**

(小宮) 豊玉町「観世音菩薩坐像」が韓国人窃盗団から盗まれて11年、昨年10月、韓国最高裁判決で決定したが未だに返還なし、対馬市の対応は。

(市長) 今後も国と協議をしていく。

◆**国民保護法等については**

(小宮) 中国と台湾、北朝鮮と国際的緊張が走る。朝鮮半島有事の際の対馬市の対応は。

(市長) 国民保護法により行う。

(小宮) 「特定利用空港・港湾」の対応は。

(市長) 要望書提出も考えながら対応する。



作元 義文議員

◆**開園を迎える豊玉こども園周辺の整備は**

(作元) 豊玉小学校前の橋の出入り口の安全対策、ゲートボール場の整備復旧は。

(市長) 福祉施設やこども園を結ぶ福祉の郷1号線は不等沈下改修工事の発注を行っている。ゲートボール場はこども園の工事完了後、現状に復元する予定。橋の出入り口は、こども園への送迎の車も増えることが予想されるので、カーブミラーのサイズを大きくし、安全対策を図る。

◆**神話の里の古民家の有効活用と一体的な利用方法の確立は**

(作元) 移設後30年を迎える古民家の有効活用と、駐車場にある小さな休憩所を売店やカフェ等に活用する考えは。また、全国的に古

民家を利用した宿泊施設等が話題になっているが、全国に公募をかける考えは。中対馬地区の今後の振興策になればと期待している。

(市長) 予算や関係法令もあるので早急な対応は難しいが、当面の活用策として、研修や会議、イベント等で古民家の利用を考えている。中対馬地区の魅力を経験していただき多くの方に利用してもらえよう積極的に受け入れたい。

◆**副市長二人体制**

(作元) 有人国境離島法の延長に向けた副市長二人の役割は。

(市長) 大きな課題のひとつ。令和8年度末に期限が迫っており、何としても延長する必要がある。本年度から法律延長に向けて取り組みたい。なお、市議会の調整を始め、県内市町との連携、国、国会議員への説明や要望活動のサポート役として、法律施行の際の経験がある一宮副市長に主体的に担ってもらおう。



脇本 啓喜議員

◆北部対馬アクションプラン

(脇本) 基本理念は。

(市長) これまでの取組を検証し、地域の未来に夢が持てる将来性と現状を踏まえながら、実効性の高い10年先を見据えたプランを策定する。

(脇本) 「観光と地域住民の生活との共存」を図るには、観光に限定せず他の産業及び福祉や教育分野も含め、住民生活に関してまで広く取り扱うべきだ。当該事業の取り扱う範疇、及び協議会のメンバー選出方針は。

(市長) 市民と行政が一体となって観光以外の住民生活まで取り扱うべく、北部対馬地域活性化検討委員会設置要綱を作成済みである。また、デジタルプラットフ

ォームを設置して、策定までのプロセスを随時公開する。

(脇本) オーバーツーリズム問題に直面して、「市民生活の質を維持するためには成長を促すのではなくむしろ制限を設けることが必要」との指針が普及しつつある。観光客の分散策についての対策は。また、「法定外新税」の一つである宿泊税は「基準財政収入額」に積算されず観光振興予算を直接増加させる。宿泊税の導入について市長の所見は。

(市長) 旅行社への支援事業等を通じた閑散期の送客の強化に加え、修学旅行等を誘致し年間を通じた観光客の平準化を図っていく必要がある。宿泊税の導入に当たっては慎重かつ十分な議論が必要だ。今後検討を重ねていきたい。



波田 政和議員

◆市内お試し住宅の活用と成果は

(波田) 提供場所による利用頻度の違いには何か問題があるのか。また、利用者の感想や定住への実例などの報告を。

(市長) 移住希望者に一日千円で最大14日間利用、延べ152日間利用され、一定の成果はあるが、利用頻度の差があり、その結果、2棟での対処で足りる。

◆市役所前のお試し住宅を市長専用公舎へ

(波田) 市役所前のお試し住宅を、市長専用公舎へと有効活用を求む。

(市長) 市の広域人事に伴い、市職員の住宅として購入し、令和2年度から用途変更、所管替えを行った。補助金返還期間は多目的使用が困難であるため、引き続きお試し住宅として活用

する。

◆市内の川端沿いの道路改良と空き店舗活性化対策の取組は

(波田) 行政主導での整備への着手について教えていただきたい。

(市長) 現状は把握しており、地域マネージャー制度を活用し意見を聞く。

また、道路に関しては都市計画事業での整備が可能のため、市が主体となり整備を想定している。

(波田) 全ての質問は、人口減少や高齢化など、定住促進が急務であることから、定着市民が満足する町づくりを基本に取り組むため。住民サービスの徹底を第一に、人口増への目標は。

(市長) まず人口減を抑制し、移住での社会増を目指しているが、明確な人数は考えてなく、10年スパンでの人口推移で目標値を掲げている。長期人口ビジョンの中で人口流出を官民一体となり、努力が肝要であると思っている。

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

委員長 陶山 莊太郎

人口減少に対する主要事業

調査日 令和6年5月21日

しまづくり推進部

◆◆◆ U・イーターン推進事業 ◆◆◆

●事業内容

- ・ 振興局・ハローワークと連携し、東京・大阪・名古屋・福岡及び、オンライン等での移住相談会を実施
- ・ 移住お試し住宅・定住支援住宅・空家バンク等での支援及び、移住・定住・就業に係る補助金制度

●過去3年間の実績

- ・ 令和3年度…103世帯・141人
- ・ 令和4年度…87世帯・126人
- ・ 令和5年度…96世帯・167人

●事業における課題

- ・ 島内の不動産情報が少ない。また、空家バンク登録物件も改修が必要なものが多く、居住物件の確保が困難

◆◆◆ 企業誘致奨励事業 ◆◆◆

●過去の実績

- ・ 平成26年度から29年度 宿泊業4社・木材加工製造業1社を誘致
- ・ 平成30年度以降 新型コロナウイルス感染症と観光客減少の影響により、誘致実績なし。

●事業における課題

- ・ 企業ニーズと合致する市有施設・市有地不足
- ・ 島内の労働力不足
- ・ 島内の通信環境が脆弱

●今後の対策

- ・ 企業ニーズに応じた廃校舎の分割活用
- ・ 外国人労働者の雇用対象への追加
- ・ 新たな高速接続プランの宣伝・周知

◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆

人口減少対策は、最重要課題であるので、市全体で関連する事業や計画を総括的かつ、積極的に推進してもらいたい。

厚生常任委員会

委員長 島居 真吾

一般社団法人対馬市シルバー人材センターの現況について

調査日 令和6年5月29日

一般社団法人対馬市シルバー人材センター

●対馬市シルバー人材センターのあゆみ

平成13年10月に旧厳原町の補助事業として旧厳原町福祉協議会が受託し、平成13年11月から事業開始。その後、平成30年4月に対馬市シルバー人材活用事業として全島広域化に取り組み、令和5年3月に一般社団法人設立。令和6年3月末現在の会員数は95名（うち、特別会員5名）、契約金額は

16,569,603円、契約件数(実件数)は507件、就業延人員は4,723人日、就業率は62.9%。

●主な契約内容

除草、伐採、公園掃除、家事・清掃、襖・障子の張替等

●今後の運営方針

・ 会員とのつながりによる組織力の強化、事故防止と安全就業の体制づくり、適正就業の確認、フリーランス新法等への対応。

●就業の課題

・ 会員の確保と育成、安全意識の徹底、リーダーの育成と会員交流等

◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆

・ 会員の安全衛生教育を実施すること。
・ ヘルメットの着用を徹底すること等、安全・適正就業に努めてもらいたい。



豊玉町仁位の事務所を視察

所管事務調査報告

産業建設常任委員会

委員長 坂本 充弘

ほたるの湯の現状及び今後について

調査日 令和6年5月23日

中対馬振興部 地域振興課

● 現況

旧峰町において町民の健康と福祉の増進を図ること等を目的に建設。6町合併後の平成17年3月から供用開始。運営は、平成21年4月から令和6年3月まで社会福祉法人梅仁会が、令和6年4月からは市直営で管理運営。施設の配管破損のため令和6年1月より休館、3月に修理完了の際に膨張タンクの故障が見つかり、復旧後運転を再開し、温泉水質検査後の5月25日より営業を再開。

● 利用者数と指定管理料

過去5カ年の利用者数は、年間1万人から1万3千人台で推移。内韓国人の利用は千人前後で推移。指定管理料は平成31年度が13,998,425円で令和2年度から令和5年度まで14,126,851円。

● 今後の運営計画

令和6年6月から指定管理者の募集を行い、令和7年度からは指定管理者での管理運営を目指す。

主要地方道厳原豆酸美津島線(吹崎工区)改良工事及び市道堂坂線改良工事の進捗状況と今後について

調査日 令和6年5月23日

建設部 北部建設事務所

● 現況

主要地方道厳原豆酸美津島線(吹崎工区)改良工事は美津島町加志地区を起点とし、箕形地区を終点とする約3・9キロメートル区間を約2・2キロメートルに短縮する改良工事。期間は平成26年度から令和8年度まで。全体事業費は48億円。その内トンネルを2区間、延長約300メートルと約740メートルを計画している。

市道堂坂線は、比田勝から浦底を南北に結ぶ東沿岸の大動脈の一部で、舟志から琴の間の代替道路として平成25年度に着手、総事業費70億円、全体延長4・13キロメートル、その内トンネル延長が1・55キロメートル、これまで舟志工区の590メートル及び琴工区の460メートルが暫定的に完成。

● 今後の課題

社会資本整備総合交付金の内示率が全国的に低く不透明な状況で、事業費の変更も予想される。堂坂線のトンネル工事は事業費53億円、令和8年度から4カ年を予定しているが、県の交付金のバランスや着手時期など不透明な部分や懸案事項もあり、県と協議を進めている。

議員定数調査特別委員会審査報告

委員長 春田 新一

本委員会は、令和5年第3回対馬市議会定例会において設置され、合計5回に渡り、慎重に調査研究を重ねました。

● 第1回委員会 正副委員長の互選

● 第2回委員会 委員会の今後の進め方、議員定数及びその期間について協議。市民からの意見の募集については内容を「議員定数についての考えとその理由」として、わかりやすいアンケート方式で作成し、令和5年12月から1か月間実施。

● 第3回委員会 市民からの意見の集計結果、類似団体等との比較について協議。市民からの意見(回答総数187名)の集計結果は、「議員定数を減らした方が良い」という意見が全体の97%、その内「3人以上減らした方が良い」という意見が90%。理由としては「対馬市の人口の減少」、「財政が厳しい」、「類似団体と比べて議員数が多い」が主な理由。

● 第4回委員会 各会派からの意見の報告、本委員会の調査結果のとりまとめ方について協議。各会派からは現状維持、1人削減、及び3人から4人削減との意見。委員の意見が一致せず、再度委員会を開催することとなった。

● 第5回委員会 これまでの調査結果及び各会派からの意見等を総括した後、議員定数について採決を取った結果、2人削減が賛成多数となり、本委員会としては議員定数を2人削減することに調査結果とすることに決定。

全国市議会議長会永年勤続議員表彰

全国市議会議長会第100回定期総会において、本市議会から3名の議員が表彰され、6月18日の定例会本会議終了後に表彰伝達式が行われました。



議員10年以上
小島 徳重 議員

議員10年以上
春田 新一 副議長

議員10年以上
脇本 啓喜 議員

編集後記

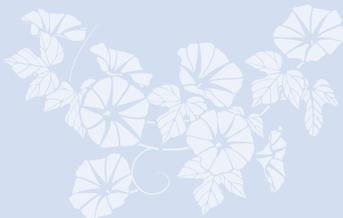
MLBの大谷翔平選手が今年も大活躍しています。7月22日現在のホームラン数は30本で、2年連続のホームラン王も夢ではなく、楽しみに応援しています。

政治の面では、7月7日東京都知事選挙が行われ、小池百合子氏が3期目の当選を果たされました。

東京は我が国日本の中心地、国政に影響する大事な選挙ですが、今回の都知事選では、選挙妨害や選挙掲示板悪用等の新たな問題を抱えることになりました。

今年はパリオリンピック・パラリンピックが開催されます。日本代表選手活躍を期待し、記憶に残るパリ大会となるよう祈ります。

今後ともご愛読をお願いいたします。
(文責・坂本充弘)



議会広報編集特別委員会

(委員長) 陶山 莊太郎
(副委員長) 入江 有紀
〔委員〕 神宮 保夫
島居 真吾
坂本 充弘
小島 徳重